

# 協会だより

公益財団法人 愛知・豊川用水振興協会

〒460-0001 名古屋市中区三の丸二丁目 6-1

愛知県三の丸庁舎 8階

TEL (052) 961-8985

FAX (052) 961-9255



AICHI TOYOGAWA YOSUI  
SHINKO KYOKAI

平成 27 年 1 月 20 日発行 VOL. 4



## 年頭にあたって

公益財団法人 愛知・豊川用水振興協会  
理事長 溝田 大助

新年明けまして、おめでとうございます。皆様方には、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

当協会は、愛知用水及び豊川用水の管理業務の円滑化等に寄与し地域の健全な発展を図ることを目的として、昭和63年に愛知県知事の認可を得て発足、その後平成20年には関連水系である矢作川用水の業務を追加、更に法人制度改革を受けて、平成25年4月からは公益財団法人に移行し、今日に至っております。

この間、愛知県、独立行政法人水資源機構及び関係土地改良区の皆様方には、当協会の業務運営に格別のご指導・ご支援を賜ってまいりましたことに深く感謝申し上げる次第であります。

昨夏は、台風の上陸が相次ぐとともに、8月には広島市北部を未曾有の土砂災害が襲い、その爪痕が癒える間もない9月には、行楽シーズン真ただ中の御嶽山が突如噴火するという、想像を絶する大惨事の連続によって多くの人命が奪われました。ここに謹んで、犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

近年、こうした想定外の自然災害が世界各国で頻発しており、当地域でも南海トラフ巨大地震の恐怖が迫り、伊勢湾台風を凌駕するスーパー台風の襲来も論じられる中で、防災・減災への重点的・計画的な取り組みが、今何よりも大切であると痛感するところであります。

また、御嶽山の噴火によって、愛知用水の水源地域は生活、産業の各面で深刻な打撃を受けておりますが、本県発展の原動力である愛知用水の恩恵を受け続ける者として、一刻も早い火山活動の沈静化と被災地の復旧・復興をお祈りするとともに、微力ながらもできる限りのご協力をしてまいらねばならないと強く感じております。

さてこのような中で、全国最大の産業集積を誇るわが愛知県は、12年後の完成が予定されるリニア新幹線の開通によって、更に一層の飛躍が期待されているところであります。当協会といたしましても、地域の発展に必要な不可欠である水の安定供給を通じて、「日本一元気な愛知」実現の一翼を担えるよう精進して参る所存でありますので、なお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

## あいちの農業用水展

農家や先人の努力の積み重ねにより守り育まれてきた「農業用水」を中心に、「水」の重要性について広く県民の関心と理解を深めることを目的として「あいちの農業用水展」を開催しています。

- 日 時 平成 26 年 8 月 2 日（土） 午前 9 時 30 分～午後 4 時 00 分  
場 所 こども未来館ここにこ（豊橋市松葉町三丁目 1 番地）  
概 要 豊川用水に関する資料等の展示  
県内の大規模農業用水に関するパネル展示  
農業用水クイズの実施  
愛知県内の田んぼや水路に生息する水生昆虫、魚類等の展示  
小水力発電施設の展示、測量体験コーナー  
主 催 愛知県  
共 催 愛知・豊川用水振興協会、水土里ネット愛知、水土里ネット豊川総合用水、水土里ネット松原用水、水土里ネット牟呂用水、水資源機構豊川用水総合事業部



## 管理技術講習会

水路管理業務に携わる者が、水路システムとその機能についての理解を深め、管理技術を向上するための講習会を開催しています。

- 日 時 平成 27 年 1 月 15 日（木） 午後 1 時 30 分～5 時 00 分  
場 所 愛知用水会館 4F（大府市中央町 3 丁目 6 番地の 1）  
内 容 愛知用水二期事業と管理の特徴  
管水路の特徴と管理上の留意事項  
参加者 愛知用水土地改良区、愛知県及び水資源機構の職員



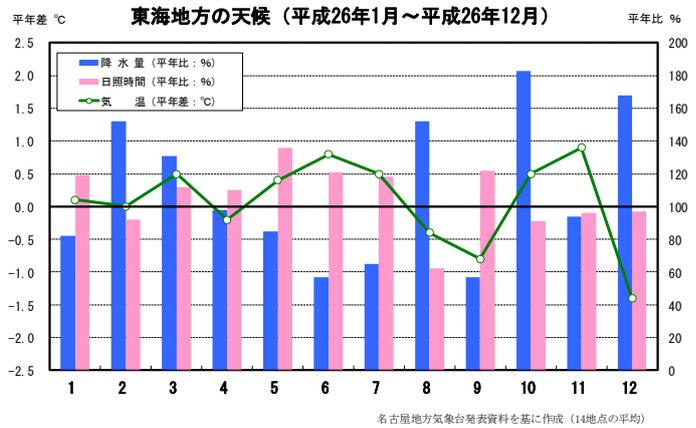
# 東海地方の天候と水源の状況

## 1 平成 26 年の天候の特徴

(名古屋地方気象台 平成 27 年 1 月 5 日発表資料を基に作成)

### (1) 平均気温

冬は寒気の影響を受けた時期もありましたが、ほぼ平年並となりました。春は高気圧に覆われて晴れた日が多くなり 3 月と 5 月は高くなりました。夏は 6 月から 7 月は高気圧に覆われ晴れた日が多く、高くなりましたが、8 月は低気圧や前線の影響で低くなりました。秋は、9 月は寒気の影響を受け、低くなりましたが、11 月は暖かい空気に覆われ高くなりました。12 月は寒気の影響で低くなりました。年平均気温は平年並 (+0.1℃) となりました。



### (2) 降水量

2 月から 3 月は低気圧や前線の影響で、8 月と 10 月は前線や台風の影響で多くなりました。5 月から 7 月は高気圧に覆われ晴れた日が多くなった影響で少なくなりました。12 月は低気圧や前線の影響で多くなりました。年降水量は平年並 (101%) となりました。

### (3) 梅雨

梅雨入りは 6 月 4 日ごろ、梅雨明けは 7 月 21 日ごろで、梅雨入りは平年より早く、梅雨明けは平年並となりました。また、6 月から 7 月の降水量はかなり少なくなりました。

### (4) 台風

4 つの台風が本州に上陸し、平年に比べ上陸数が多くなりました。

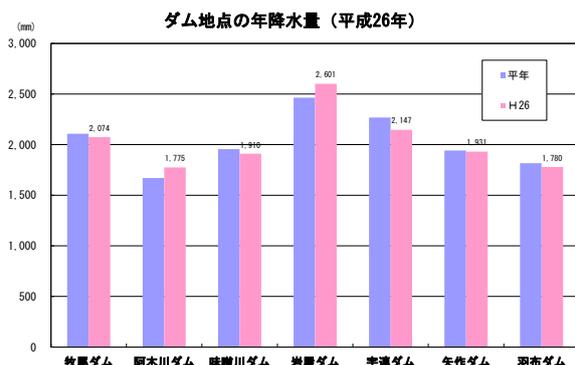
## 2 ダム地点の降水量と節水状況

### (1) ダム地点の年降水量

ダム地点の年降水量は平年並となり、7 地点の平均では平年比 100% となりました。

### (2) 用水の節水状況

6 月から 8 月の間において、ダム貯水量が低下したため、愛知用水、豊川用水及び矢作川用水で節水が行われました。節水期間は、6 日～14 日と比較的短く、2 回目の節水に至ることなく水利用は推移しました。



用水の節水状況 (H26年)

用水 (主水源)	回数	節水期間 (日)	節水率 (%)			貯水率 (%)
			農水	上水	工水	
愛知用水 (牧尾ダム)	1	06/27 (14)	10	5	10	55
	解除	07/11				82
豊川用水 (宇連ダム)	1	07/02 (9)	5	5	5	36
	解除	07/11				48
矢作川用水 (矢作ダム)	1	08/06 (6)	20	10	30	51
	解除	08/12				75

### 3 水源の状況と天候の見通し

#### (1) ダム貯水率

平成 26 年 12 月 31 日現在のダム貯水率は、次表のとおりです。  
当協会のホームページにおいて、以下の情報を掲載していますので、ご覧下さい。

「あいとよネット」で検索  
(<http://www.aitoyo.or.jp/>)

★ダム貯水量曲線

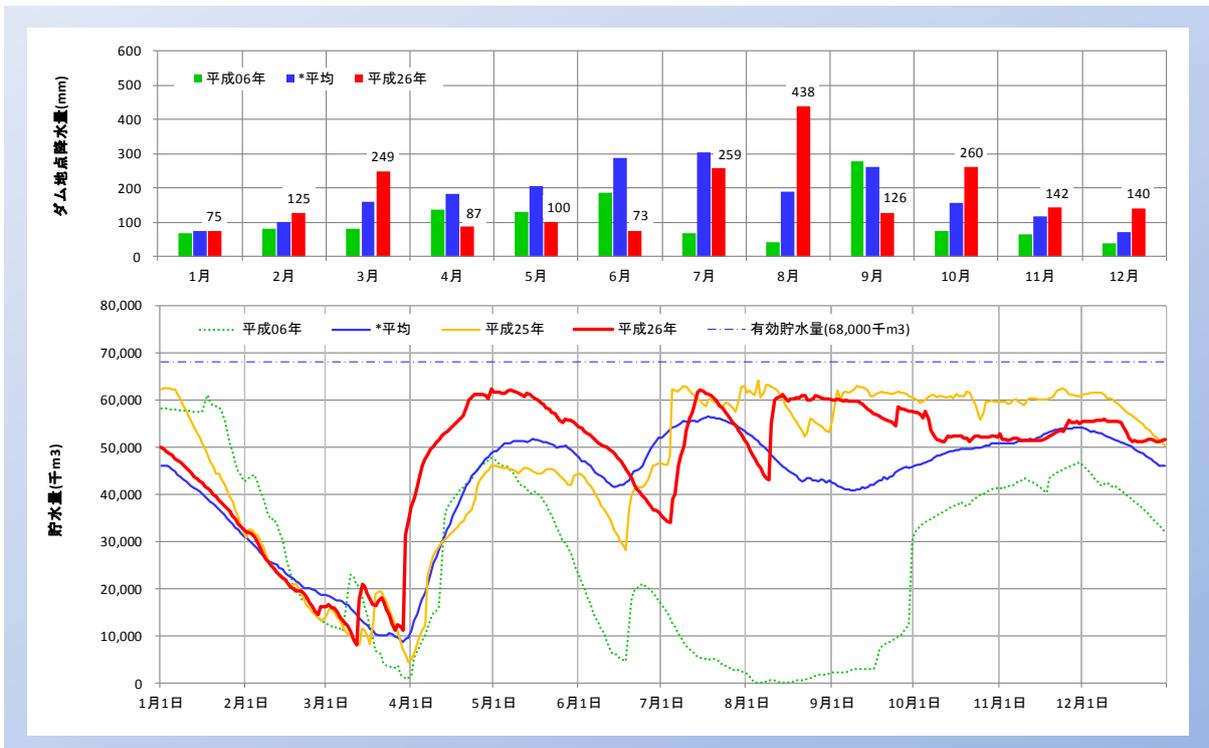
★水源の状況と天候の見通し(3 か月予報) [月 1 回更新]

H26. 12. 31

水 源	利水容量 (千m3)	貯 水 量 (千m3)	平年貯水率 (%)	貯水率 (%)	平年差 (%)
木曽川水系					
牧尾ダム	68,000	51,515	67.7	<b>75.8</b>	8.1
阿木川ダム	22,000	22,000	84.7	<b>100.0</b>	15.3
味噌川ダム	31,000	31,000	94.0	<b>100.0</b>	6.0
岩屋ダム	61,900	61,900	93.6	<b>100.0</b>	6.4
豊川水系					
宇連ダム	28,420	27,674	60.7	<b>97.4</b>	36.6
豊川用水全体	51,820	48,464	72.1	<b>93.5</b>	21.4
矢作川水系					
矢作ダム	65,000	20,400	48.8	<b>31.4</b>	-17.4
羽布ダム	18,461	12,479	69.6	<b>67.6</b>	-2.0

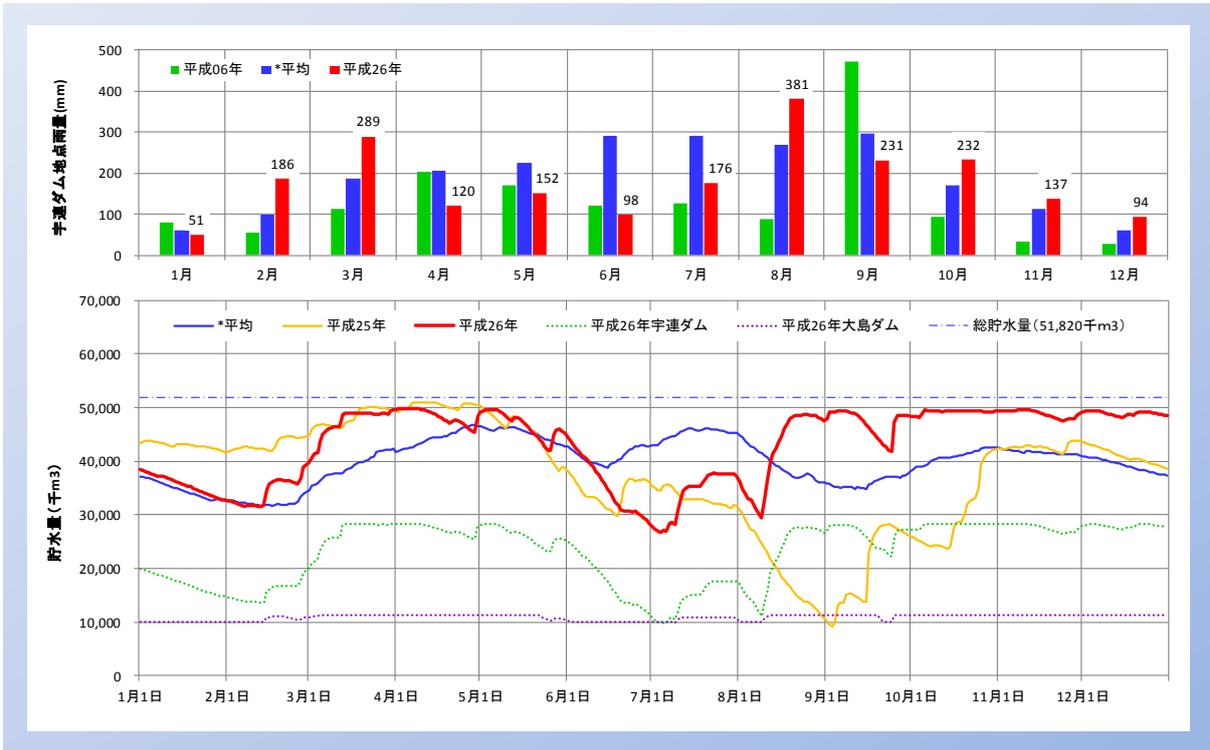
注) 貯水率は、当日の24時(木曽川・豊川)または9時(矢作川)の値

#### 牧尾ダムの貯水量曲線



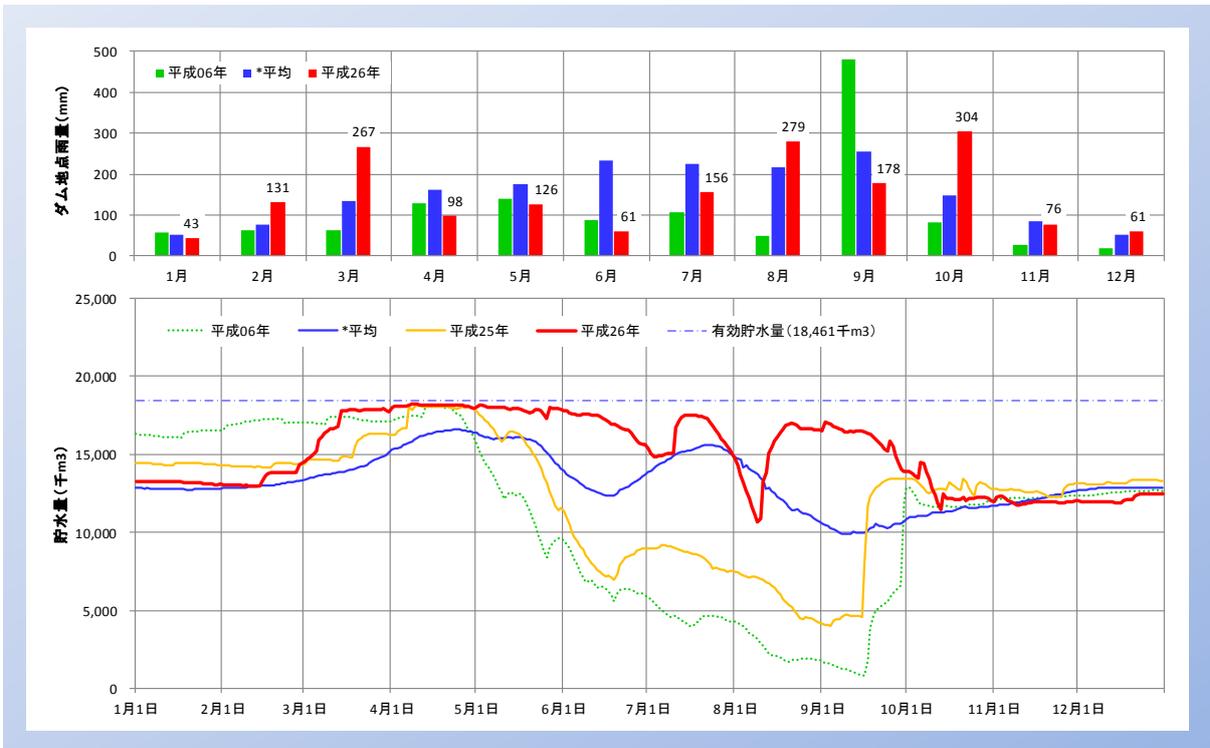
\*平均: 昭和37年1月から平成25年12月  
(データ提供: 独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所 URL <http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/>)

## 豊川用水全体の貯水量曲線



\*平均: 平成14年4月から平成25年12月 (雨量は昭和43年4月から平成25年12月)  
 (データ提供: 独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部 URL <http://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/>)

## 羽布ダムの貯水量曲線



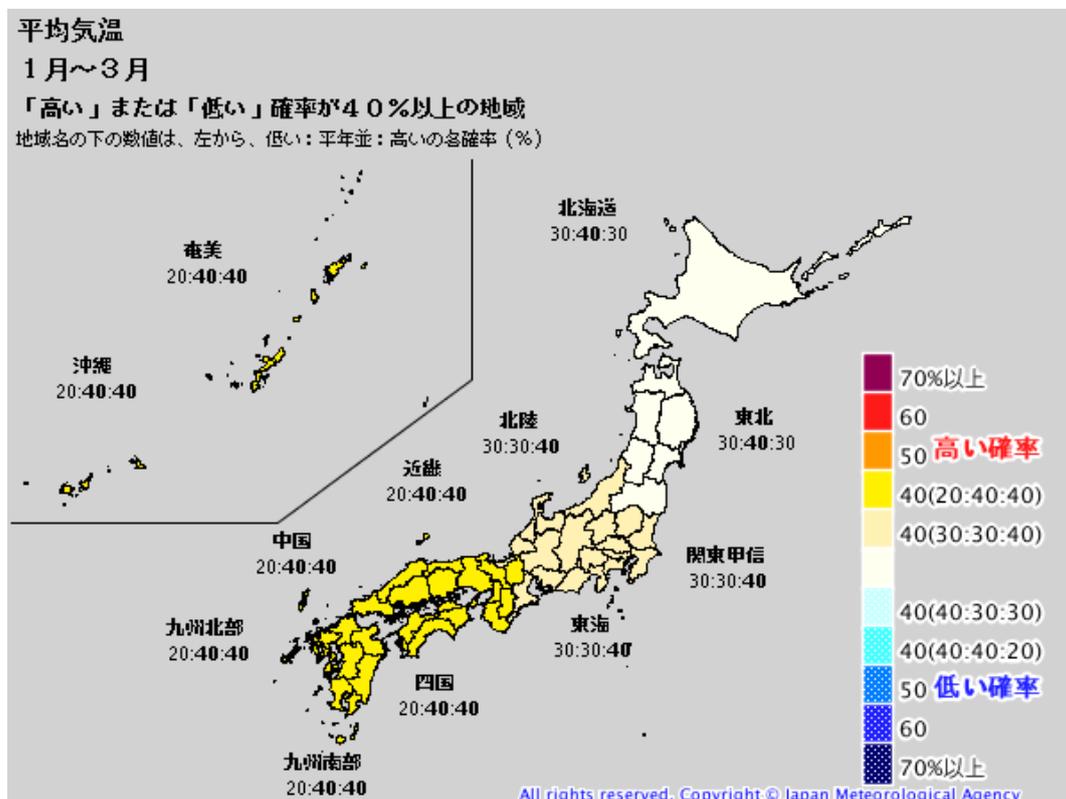
\*平均: 昭和39年1月から平成25年12月  
 (データ提供: 愛知県西三河農林水産事務所用水管理課)

## (2) 東海地方の3か月予報

(名古屋地方気象台 平成26年12月24日発表資料を基に作成)

### ① 気温

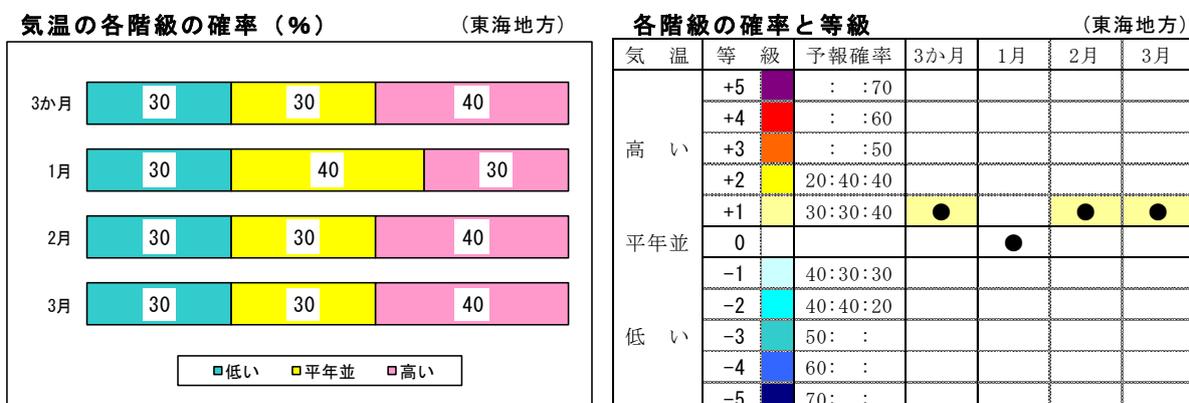
東海地方の3か月全般(1月～3月)の平均気温は、下図のように、低い確率が30%、平年並が30%、高い確率が40%の予報となっています。



同様に、1月から3月までの月別予報は、下図左のとおりです。

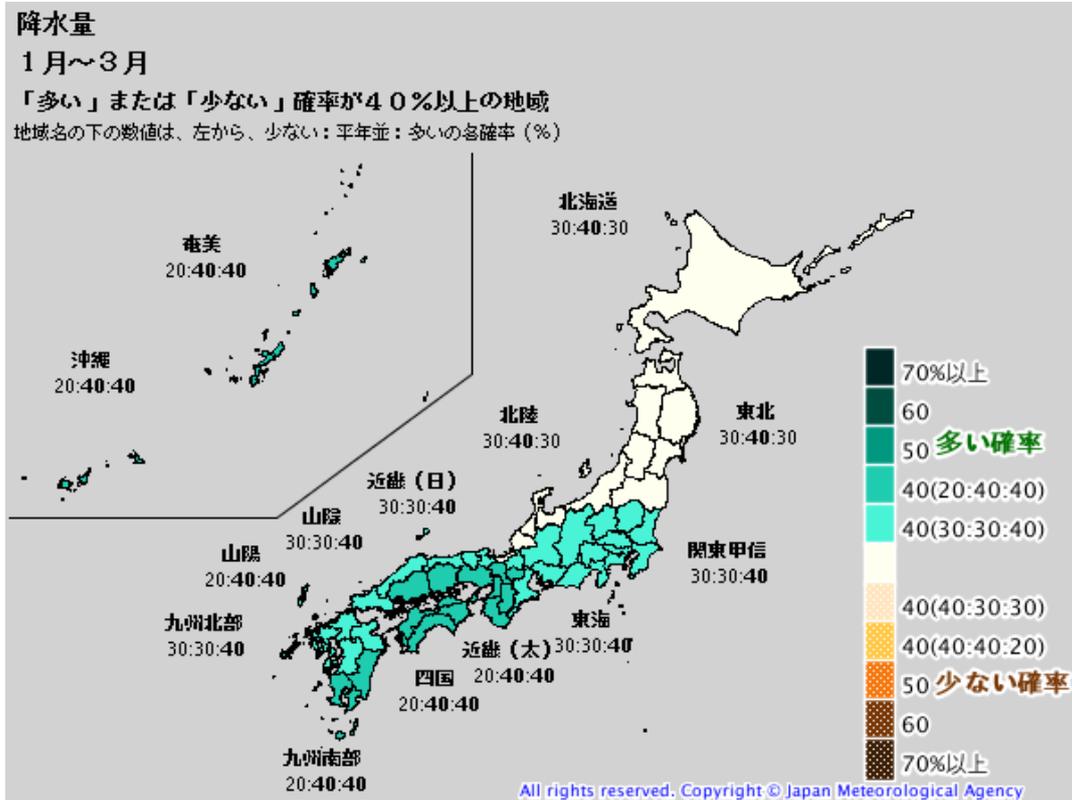
ここでは、気温の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5段階の等級に区分することとします。

この結果、気温は、3か月全般で[+1]、1月は[0]、2月と3月は[+1]となります。



## ② 降水量

東海地方の3か月全般(1月～3月)の降水量は、下図のように、少ない確率が30%、平年並が30%、多い確率が40%の予報となっています。

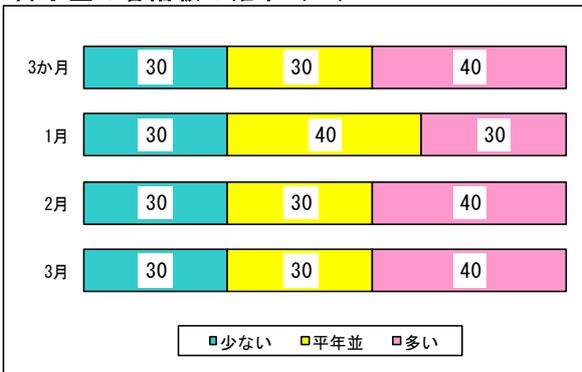


同様に、1月から3月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、降水量の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5段階の等級に区分することとします。

この結果、降水量は、3か月全般で[+1]、1月は[0]、2月と3月は[+1]となります。

降水量の各階級の確率 (%) (東海地方)



各階級の確率と等級 (東海地方)

降水量	等級	予報確率	3か月	1月	2月	3月
多い	+5	: : 70				
	+4	: : 60				
	+3	: : 50				
	+2	20:40:40				
	+1	30:30:40	●		●	●
平年並	0			●		
少ない	-1	40:30:30				
	-2	40:40:20				
	-3	50: :				
	-4	60: :				
	-5	70: :				

